

桜川市の
おいしい
農産物

Ⅱ 地産地消推進Ⅱ 地元農産物でおいしい給食

問合せ先／学校給食センター（☎0296・58・8310直通）



いばらき県産デー給食を楽しむ児童たち



【いばらき
県産デー】



- ・麦ごはん
- ・牛乳
- ・すき焼き風煮
- ・もやしサラダ
- ・梨

学校給食センターでは、給食に地元農産物の活用を推進するため、北つくば農業協同組合、市農林課と意見交換会を実施しています。この取り組みは、新鮮で安心安全な地元農産物を学校給食に活用することは、児童・生徒が地域の自然や農業への理解を深め、生産者への感謝の心を育む上で大変有意義であるという考えから実施されています。



大塚市長に梨とねぎを寄贈する川津組会長

今年度は、その取り組みの一環として、北つくば農業協同組合（川津修代表理事組合長）から、地元農産物の活用、地産地消に役立ててほしいと9月使用分ねぎ15kg・梨470個を寄贈いただきました。寄贈された梨は、9月8日に中学校・義務教育学校へ、11日に小学校へ提供。

11日の「いばらき県産デー」では、新鮮なねぎを豊富に使用した「すき焼き風煮」を提供しました。児童・生徒からは「ねぎがおいしかった」「もっと食べたい」という声が聞かれ、大変好評でした。

また、選果場を取材して作成した食育動画を全校に配信し、地元農産物ならではの魅



食育動画を全校に配信



寄贈された梨「恵水」を食べる児童

力やおいしさについての熱い想いを届けました。市内の児童生徒に桜川市産の農産物に関心を持ってもらえる良い機会となり、食の指導につながることができました。

更に、10月使用分のきゅうりについても寄贈いただき、給食に使用する予定です。

今後も、市では関係機関と連携を図り、地元農産物活用に力を注ぎ、学校給食事業のなかで積極的に地産地消に取り組んでまいります。



寄付

寄贈



目録を受け取った大塚市長と、ヤマザクラの苗木を手にする渡辺一洋特別参与

寄付
株式会社筑波銀行（生田雅彦代表取締役頭取）から、ヤマザクラ保全事業に活用してほしいと、10万円の寄付がありました。